

## 日本発ドイツ便り：フランクフルトにて

久々にフランクフルトに一泊しました。日本から飛行機で到着するのはいつもフランクフルト空港。この空港に着陸すると「ああ帰ってきた！」と思います。でもそこから乗り継ぎで他の街に行くことがほとんどなので、フランクフルトに滞在する機会は意外にもあまりないのです。

この街は私にとって第3の故郷となるのですが、半年暮らして、働いていた街だから、なのかわかりませんが、何度いっても、観光。という気分にはならないのが不思議です。実際観光名所と言われるところにはほとんど行ったことがないし、100%自炊していたので、美味しいレストランもほとんど知りません。知っているのはスーパーとか市場とか美味しいコーヒー屋さんとかパン屋さんとか、生活密着のところばかりです。☺他の街と同じようにカメラ片手に歩いているのですが、写真もあんまり撮ろうと思いません。なんだか不思議です。いまだに「暮らしている街」と錯覚するのでしょうかね？

そんなフランクフルトも久々に行くと、色々変わっていました。この前大工事中だった所に大規模なショッピングセンターが出来ていたり（丁度私の到着した日の午前中に、このショッピングセンターのクリスマスイルミネーションの点灯式があったんです。点灯したのはなんと、ドイツのメルケル首相！翌日の新聞で知りました。）



そのショッピングセンターの中をぐるっと走るミニチュア鉄道。

いつものお気に入りの肉屋さんでおやつに、カレーヴルスト。フランクフルト名物 Rindwurst（リントヴルスト：牛肉のソーセージ）いつも変わらぬ美味しさです。





夜のレーマー広場。古い建物と、ドイツではフランクフルトにしかない高層ビル群が見えるお気に入りの風景。(高層ビル群はニューヨークのマンハッタンのもじりで、Mainhattan : マインハッタンと呼びます。©Main というのは、フランクフルトを流れる河で、フランクフルトの正式名称は、Frankfurt am Main : フランクフルト アム マインといいます。) これはクリスマス市の開始を2日後に控えてのレーマー広場の風景。市の準備が出来ているのなら、明かりぐらいつけてくれ～.としました。)

同じ風景が、クリスマス市が始まるとこんなに変わります。数年前の、ある雪の日に。





全く関係ないですが、地下鉄の中で見つけた、あまりにあままりな広告。



Fahr nie ohne っていうのは、「なしでは乗らないで」って意味で、要は乗車券無しに電車に乗ったらあかんよ。(罰金 40 ユーロ) ってことなのですが…。他に表現方法もあるだろうに…。ドイツの広告とか、ネーミングとか、イマイチ理解不能なものが多いです。(素材が集まれば、またそのうちに)



ドイツでの最後の夕食は…フランクフルトならもちろんこれ！と大いにお気に入りの石焼きステーキ。  
ビックリのボリュームは、1人前約 300 グラムとのことです。☺

フランクフルトですることと言えば、約1日の滞在で、買い物(生活必需品)と美味しいものを食べるくらいですが、妙に落ち着くので、時々帰りたくなる街です。もちろん市内+周辺には観光地がたくさんあるので、フランクフルトを拠点に滞在するのも良いと思います。  
是非一度、行ってみてくださいね！